

705-AD12P0-03

深圳市神牛摄影器材有限公司

所在地: 深圳市宝安区福海街道塘尾社区耀川工业区厂房2棟
電話: +86-755-29609320(8062) ファックス: +86-755-25723423 電子メール: godox@godox.com

GODOX Photo Equipment Co., Ltd.

Add: Building 2, Yaochuan Industrial Zone, Tangwei Community, Fuhai Street, Bao'an District,
Shenzhen, China Tel: +86-755-29609320(8062) Fax: +86-755-25723423 E-mail: godox@godox.com

godox.com

Made in China



Godox

AD1200^{Pro} Kit

1200Ws TTLパワーバックキット
1200Ws TTL Power Pack Kit



取扱説明書

はじめに

安全に本製品を使用することを確保するため、予め本取扱説明書をよく読んでください。必要な時にすぐに取り出せるよう大切に保管してください。

この度は神牛の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

神牛1200WsTTLパワーバックキットAD1200 Pro Kitはコンパクトなスプリット式口金と大容量リチウム電池を含んでおり、パワーが強く、屋外撮影環境で太陽光を抑え、暗い背景を生み出し、いつでもどこでもクリエイティブなライティングエフェクトを創り出すことができます。神牛2.4GワイヤレスXシステムを内蔵しており、Xpro、X1、X2シリーズトリガーと組み合わせると、TTL/M/Multiモードトリガ口金の発光を遠隔制御できます。同時に、TTLマスタスレーブ機能によって、神牛TTLカメラフラッシュ、TTLアウトドアフラッシュ、TTLスタジオフラッシュと組み合わせることができます。AD1200 Pro Kitパワーバックキットを使用することによって、より簡単な撮影体験が得られ、光線の変化が複雑な条件で、正しい発光露出が自動に獲得でき、撮影が手軽で自由になります。

Ad1200 Pro Kitはパワーが強く、電池容量が大きく、全過程高速をサポートし、ライトチューブと標準リフレクターが屋外撮影と実景撮影に優れた光質を提供しています。

本製品の特徴は下記のとおりです。

コンスタント色温度：フルパワーにおける色温度変動 $\pm 75K$ （コンスタント色温度モード）。

LEDモデリングランプ：40W大出力LEDモデリングランプによって、無段で輝度を自由に調整可能。

ワイヤレスTTLシステムに全面対応：神牛2.4GワイヤレスXシステムを内蔵しており、Canon、Nikon、Sony、Fujifilm、Olympus、PanasonicなどのTTL自動発光システムをサポートできます。

二つの3.5mmシンクロソケットが設けられ、多種のシンクロトリガー方式を実現可能。

精確な調光：パワー調整範囲が大きく（1/1-1/256）、81段で精確に微調整でき、ライティングエフェクトをより手軽に把握できます。

高級機能：1/8000秒ハイスピードシンクロ、ハイスピードストロボ、ハイスピードリモコンシンクロトリガーなどをサポートします。

スプリット式フラッシュヘッド：配光がより自由になります。


マトリクスLCDスクリーン：表示は直感であり、操作はより手軽です。

豊かなアクセサリ：マウントはBowensマウントを採用しており、10種類以上ライティングエフェクトアクセサリ組み合わせがあり、小型で携帯に便利であり、豊かで実用的です。

警告

- ▲ 乾燥を保ってください。
- ▲ 自分勝手に本製品を分解しないでください。製品に故障が起きた場合、弊社または授権
- ▲ された専門者よりチェックしたり、メンテナンスしたりしなければなりません。
- ▲ 子供の手の届かないところに置いてください。
分解したり、衝突したり、押ししたり、火の中に投げたりしてはいけません。厳しく膨ら
- ▲ むと、引き続き使用しないでください。50℃を超えた高温環境に置かないでください。
- ▲ フラッシュヘッドを人の目（特に赤ちゃんの目）に当てて発光しないでください。そう
しないと、短期間に視力障害を起こす恐れがあります。
化学品、可燃性ガスまたは他の特殊物質の近くでフラッシュを使わないでください。こ
- ▲ れらの物質は特殊な状況でフラッシュの出した瞬間的な強光に敏感であり、火災または
- ▲ 電磁干渉をもたらす恐れがあります。このような場合、関連警告マークに注意してくだ
さい。
本製品は防水できないため、雨天または湿っぽい環境で防水に注意してください。
いかなる故障が起こった場合、直ちに電源を切ってください。

目次

- 01 はじめに
- 02 警告
- 05 部品名称
 - パワーパック
 - コントロールパネル
 - LCDスクリーン
 - リチウム電池
 - フラッシュヘッド
- 09 標準添付品セット
- 09 オプション部品
- 10 リフレクターの着脱
- 10 フラッシュチューブの着脱
- 11 フラッシュ角度の調整
- 11 電池
- 12 電源管理
- 12 フラッシュヘッドとパワーパックとの接続
- 13 ワイヤレスモードの選択
- 13 発光モード——TTL自動発光モード
 -  ハイスピードシンクロ
- 14 発光モード--M：手動発光
- 16 発光モード—Multi：ストロボ発光
- 17 ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送
 - ワイヤレス設定
 - 通信チャンネルの設定
 - 通信グループの設定
 - ワイヤレスフラッシュ撮影
- 20 C.Fn：カスタム機能の設定
- 21 モデリングランプ
- 21 その他の応用
 - シンクロソケットトリガー
- 22 保護機能
- 23 仕様
- 24 トラブルシューティングガイド
- 24 ファームウェアアップグレード
- 24 メンテナンス・保守

本取扱説明書の中で使われている約定

- 本取扱説明書に記載された操作ステップはカメラとフラッシュの電源スイッチがONにされているとします。
- ページ参照は（第**ページ）の形式で表示されます。
- 本取扱説明書は下記の警告マークを使います。
 - ▲この「警告」マークは撮影問題を避けるための警告です。
 - この「注意」マークは補充情報を提供する意味を表します。

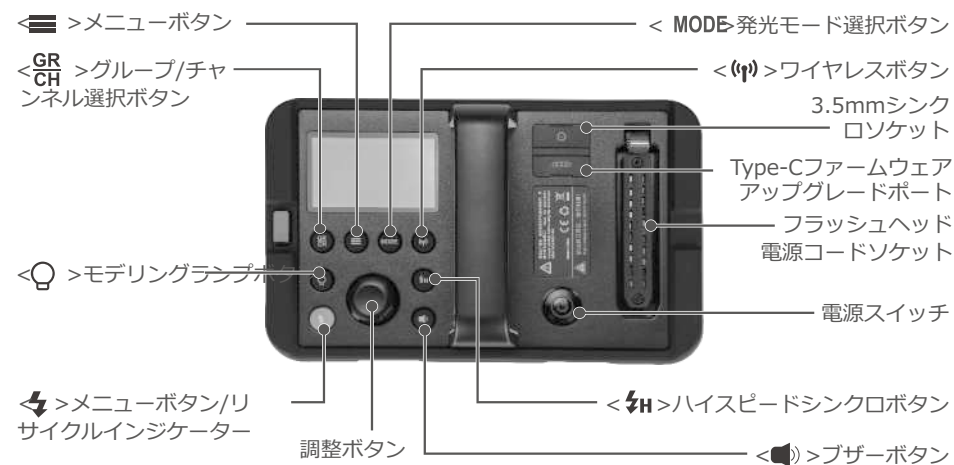
部品名称

パワーパック



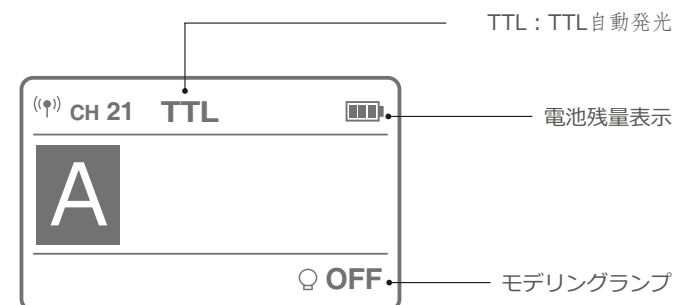
部品名称

コントロールパネル



LCDスクリーン

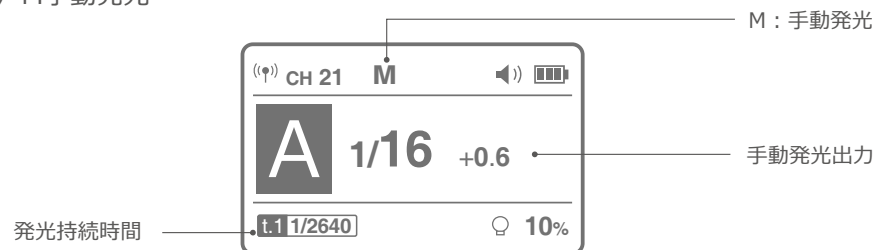
(1) TTL自動発光



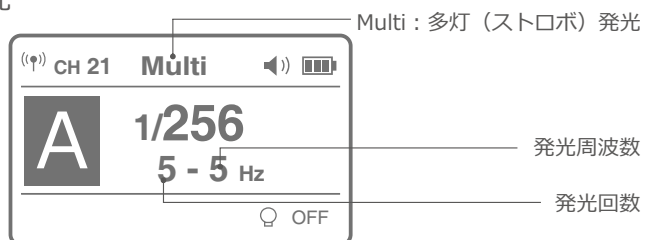
部品名称

LCDスクリーン

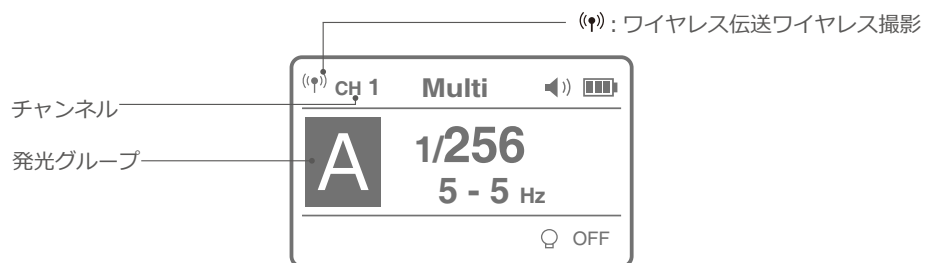
(2) M手動発光



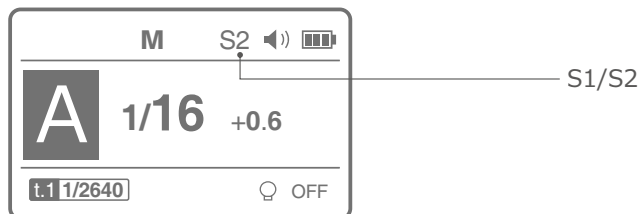
(3) Multiストロボ発光



(4) ワイヤレス伝送撮影



(5) ワイヤレス光制御撮影



部品名称

リチウム電池



フラッシュヘッド



標準添付品セット

1. パワーバック
2. フラッシュヘッド
3. リチウム電池
4. 充電器
5. 電源ケーブル
6. リフレクター
7. ガラスカバー
8. 携帯用ケース
9. 取扱説明書



オプション部品

AD1200Pro Kit向けの小容量電池WB1200は別売品で、コンパクトで携帯に便利で、直接飛行機に持ち込むことができます。WB1200電池を使うと、フルパワー発光回数は約200回です。



最高の撮影効果と使用体験を獲得するため、弊社の撮影アクセサリ、例えばXpro/X2/X1 トリガー、FT-16リモコン、ソフトボックス、レーダーカバー、折りたたみソフトボックス 傘型、スヌート、ホルダーなどを購入することをおすすめします。



リフレクターの着脱



- 1 フラッシュカバー固定スライドボタンをスライドします。
- 2 リフレクターをアクセサリのマウントに差し込んで時計回りに沿って回してロックします。

フラッシュチューブの着脱

フラッシュチューブの装着



- 1 フラッシュカバー固定スライドボタンをスライドし、リフレクターまたは他のアクセサリを取り外します。
- 2 フラッシュチューブの三つの挿しピンをフラッシュソケットの三つの穴に合わせて、フラッシュを差し込みます。
- 3 ガラスカバーをかぶせます。

フラッシュチューブの離脱



- 1 親指がフラッシュチューブを通し、親指と人差し指の側面でフラッシュチューブシートをしっかりと握り、力を入れてフラッシュチューブを抜き出します。

フラッシュ角度の調整



- 1 ハンドル固定部品が抜き出されなかった状態で、時計回りに回すとロックし、反時計回りに回すとアンロックします。
- 2 フラッシュ角度の調整範囲は240°で、フラッシュ本体にぶつかる前にハンドル固定部品を引き出して回転角度を調整してから、引き続きステップ1を行います。

電池

特徴

- 1.本製品は国際有名ブランドのリチウム電池を使っており、500回以上の充放電サイクルをサポートし、耐用期間が長いです。
- 2.安全で信頼性が高く、内蔵回路は過充電保護、過放電保護、過電流保護、短絡保護を有しています。
- 3.付属している電池充電器を使う場合、3時間ぐらいで満充電になります。

▲注意事項

- ▲ 正極と負極の短絡を避けてください。
- ▲ 電池は防水機能を有していないため、電池を霧または水の中に浸さないでください。
- ▲ 子供の手の届かないところに置いてください。
- ▲ 充電する場合、電池を24時間以上放置しないでください。
- ▲ 電池を通気性の良い涼しくて乾燥したところに保管してください。
- ▲ 電池を火の近くまたは火の中に置かないでください。
- ▲ 電池を廃棄する時に地元のルールに従って処理してください。
- ▲ 長期間にわたって使わない場合、60%まで充電してから置いてください。電池の耐用期間を延ばすため、3ヶ月毎に1回充電保守を行うことをおすすめします。
- ▲ 500回充放電を繰り返したり、3年以上使ったりした場合、新しい電池を交換することをおすすめします。

電池の着脱：

電池の装着：



- 1 電池を電池ソケットに入れます。



- 2 ロックされるまで電池を下へ押します。

電池の離脱：



- 1 上へ電池スライドボタンを軽く押すと、電池引き手が弾き出されます。



- 2 上へ電池スライドボタンを軽く押すと同時に、電池引き手を引いて電池を引き出します。

電池残量表示

リチウム電池を正しくフラッシュに取り付けると、フラッシュに給電できます。使用時に、フラッシュのスクリーンにある電池アイコンをチェックするだけで電池残量を把握できます。

| LCDスクリーン残量符号表示（フラッシュシステム全体に対する電池残量表示と管理） | 電池におけるLED表示（ノンロードで、電池残量に対する表示と管理） | 意味/残量100% |
|--|-----------------------------------|---|
| 3グリッド | 赤色1+緑色3 | 75%~100% |
| 2グリッド | 赤色1+緑色2 | 50~75% |
| 1グリッド | 赤色1+緑色1 | 25~50% |
| フレーム | 赤色1 | 3~25% |
| 低残量、充電提示 | 2%赤色に点滅します 1%インジケータが消灯します。 | 2%以下になると、電池容量がすぐ切れれます。この状態でフラッシュの操作をサポートしません。前の1分間においてアラーム提示を出すのが、3分後に自動にオフになります。 注： この状態になると、直ちに（10日以内）充電してから、使用したり、放置したりすることができます。 |

注：表示はほとんど一致しているが、段階切替時にすこし差別があります。

電源管理

*ON/OFFボタンを1秒長押しすると、本製品のオン/オフを制御できます。長時間にわたって使わない場合、電源を切ってください。本製品は電源自動オフ機能を有しています。C.Fn-STANDBYに設定された時間（30~120分）で操作しなかった場合、フラッシュは自動にオフになります。

フラッシュヘッドとパワーパックとの接続

フラッシュヘッドの電源ケーブルのプラグをパワーパックフラッシュヘッド電源ケーブルソケットに差し込み、電源ケーブルを差し込む時に、プラグの末端をソケットの下側に合わせて正しく差し込んでから、スプリングプレートを押さえながら他端を押さえると、しっかり差し込むことができます。フラッシュヘッドを取り出す場合、スプリングプレートを押さえながら、プラグをスプリングプレート的一端から上へ上げると、全体を取り出すことができます。



ワイヤレスモードの選択

AD1200Pro Kitはスレーブユニット（レシーバ側）のみに利用されます。ワイヤレスボタンを押すことによって、ワイヤレスモードと普通モードを選択できます。

発光モード——TTL自動発光モード

このフラッシュはTTL自動発光、M手動発光とMultiストロボ発光という三つのモードを有しています。TTLモードで、カメラの測光システムは被写体から反射して返ってきた発光照明を計測し、自動に発光出力を調整し、被写体と背景を均一に露出させます。

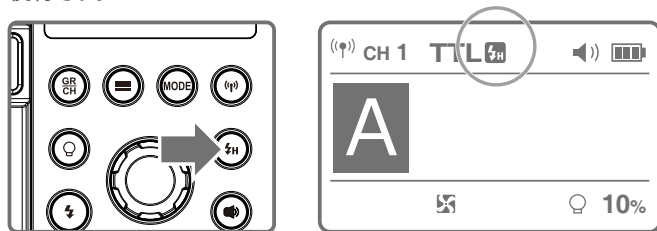
* <MODE> モード選択ボタンを押すと、三つの発光モードは順次にLCDスクリーンに表示されます。

TTLモード

* <MODE> モード選択ボタンを押して、フラッシュを<TTL> に設定することによって、フラッシュをTTLモードに入らせることができます。

高速シンクロ

高速シンクロを使うと、あらゆるシャッター速度でシンクロにフラッシュを使うことができます。高速シンクロモードで、絞り優先を使って人物に対し充填発光を行なう時に特に便利です。

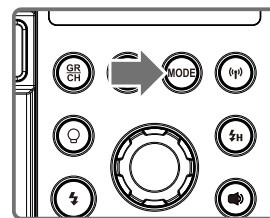


- 1 高速シンクロボタンを押して、スクリーンに高速シンクロアイコンを表示させます。
- 2 トランスミッターはXProまたはX1シリーズ、X2シリーズトランスミッターを使ってください。

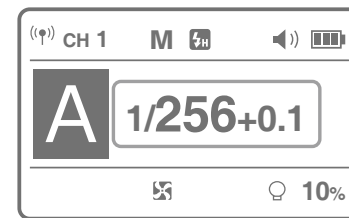
- シャッター速度はカメラの最大フラッシュシンクロ速度に等しいか、それより遅い場合、ファインダーの中に高速シンクロアイコンを表示しません。
- 高速シンクロを使う場合、シャッター速度は高いほど、有効発光範囲は小さくなります。
- 普通発光に回復したい場合、再度高速シンクロボタンを押してください。高速シンクロアイコンは消えます。
- 高速シンクロモードで、ストロボ発光を設定できません。
- 引き続き高速シンクロ発光を100回行った後、フラッシュの熱保護機能はイネーブルにされる可能性があります。

発光モード--M：手動発光

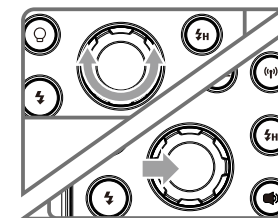
1/256パワー～1/1フルパワーの間で0.1刻みまたは1刻みで発光出力を設定できます。正しいフラッシュ露出を獲得するため、手持ちのフラッシュ測光表を使って必要とする発光出力を確定してください。



- 1 <MODE> モード選択ボタンを押して、スクリーンに<M>を表示させます。



- 2 調整つまみを回すか、つまみを押しながらかき回して発光出力パワーを設定します。直接つまみを回す場合、0.1刻みで増え、つまみを押しながらかき回す場合、1刻みで増えます。



- 3 <SET> 設定ボタンを押して、発光出力パワーを確定します。

S1光制御ユニットの設定

M手動発光モードで、<Fn> ボタンを押して、C.Fn-SLAVEに入り、S1機能を選択すると、フラッシュはサブフラッシュとして使い、複数の照明効果を創り出すことができ、手動発光環境に適用されます。これはメインフラッシュの第1回発光と同調して発光をトリガーし、その効果はワイヤレスフラッシュトリガーを使うことと一致します。

S2光制御ユニットの設定

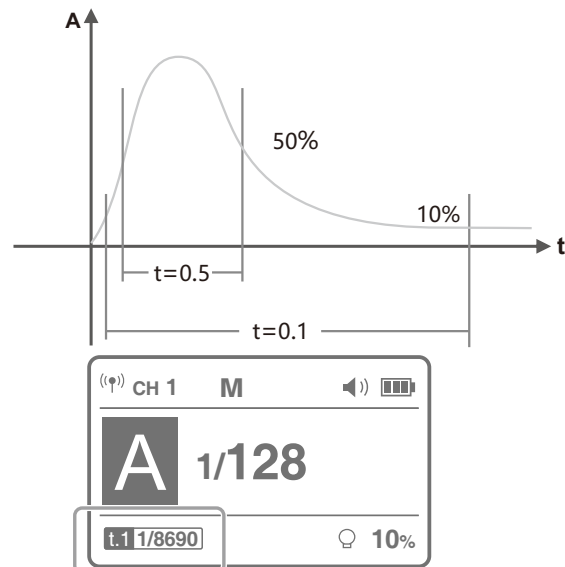
<Fn> ボタンを押して、C.Fn-SLAVEに入り、S2機能を選択すると、フラッシュはサブフラッシュとして使うことができ、TTL発光環境に適用します。予備発光機能を備え、1回予備発光機能付きのカメラを使う時に光制御によってシンクロ撮影を実現できます。これはメインフラッシュの第2回発光と同調して発光をトリガーでき、即ち、2回光制御トリガーです。

- MモードのみでS1/S2光制御トリガーモードをサポートします。

発光モード——M：手動発光

発光持続時間の表示

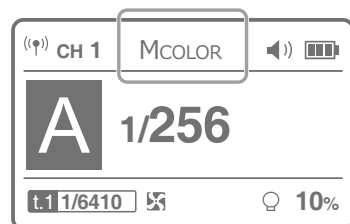
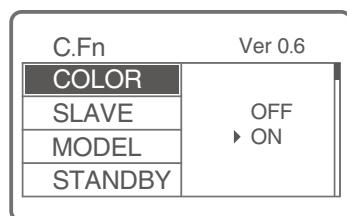
発光持続時間はフラッシュが発光開始から発光半値幅に達するまでの時間の長さを指します。半値幅の表示は $t = 0.5$ です。カメラマンにより詳しい撮影数値を提供するため、本製品は $t = 0.1$ を採用しています。 $t = 0.5$ と $t = 0.1$ の区別は下記の図に示す通りです。



● Mモードのみで持続時間を表示します。

色温度コンスタント

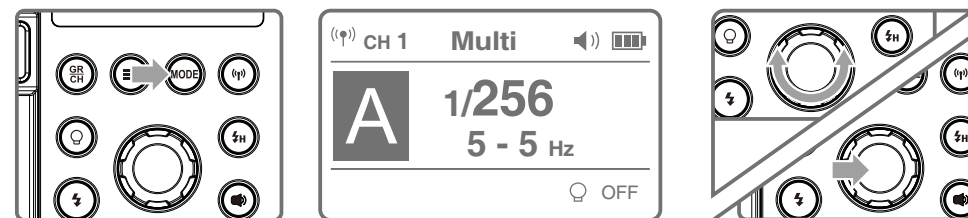
この機能を使うと、フルパワーにおける色温度変動は $\pm 75K$ です。MENU C.Fn-COLORに入り、ONに設定し、色温度コンスタントが起動します。Mモードでパワー値は大きい側から小さい側へ調整される時、トリガーボタンインジケータが点滅し、ブザーが鳴ります。この時にトリガーボタンを押して放電してから、はじめて正常に使用できます。



● Mノンハイスピードモードのみで色温度コンスタントをサポートします。

発光モード——Multi：ストロボ発光

ストロボ発光を使用して、快速なシリーズ発光を出すことができます。このモードで1枚写真の上で移動被写体の複数画像を撮影できます。この機能を通じて、発光周波数（秒毎の発光回数、Hzで表示されます）、発光回数と発光出力を設定できます。



- 1 <MODE> 発光モード選択ボタンを押すと、スクリーンに<MULTI>が表示されます。
- 2 調整つまみを回して発光出力を設定します。
- 3 発光周波数と発光回数を設定します。
 - <SET> ボタンを押して発光回数を選択し、調整つまみを回して数値を設定します。
 - <SET> ボタンを押して発光周波数を選択し、調整つまみを回して数値を設定します。
 - <SET> 設定ボタンを押して確認すると、あらゆる設定はいずれも表示されます。

シャッター速度の計算

ストロボ発光過程において、発光停止までシャッターは起動状態を保持すべきです。下記の計算式によってシャッター速度を計算してから、カメラで設定します。

$$\text{発光回数} / \text{発光周波数} = \text{シャッター速度}$$

例えば、発光回数は10であり、発光周波数は5Hzであるとすると、シャッター速度は少なくとも2秒になります。

⚠ フラッシュヘッドの過熱と損傷を防ぐため、引き続き10回以上のストロボ発光連続撮影を行なわないでください。10回発光した後、フラッシュを少なくとも15分冷却させてください。引き続き10回以上のストロボ発光連続撮影を行なってみたい場合、フラッシュヘッドの過熱を防ぐため、発光は自動的に停止することがあります。このような場合、フラッシュを少なくとも15分冷却させてください。

- 反射の強い被写体の場合、暗い背景の前でストロボ発光を使うとより効果的です。
- 三脚とリモコンスイッチを使うことをおすすめします。
- 発光出力は1/1と1/2である場合、ストロボ発光を設定できません。
- ストロボ発光時でも「buLb」を使うことができます。
- 発光回数は--に表示された場合、シャッターシャットダウンまたは電池切れまでフラッシュは引き続き発光します。下記の表に示すように、発光回数は制限されます。

最大ストロボ発光回数

| 発光出力 | Hz | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6-7 | 8-9 | 10 | 11 | 12-14 | 15-19 | 20-50 | 60-100 |
|-------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-------|-------|-------|--------|
| 1/4 | | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 1/8 | | 20 | 15 | 12 | 10 | 8 | 6 | 5 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 1/16 | | 30 | 30 | 30 | 20 | 20 | 20 | 10 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 1/32 | | 60 | 60 | 60 | 50 | 50 | 40 | 30 | 20 | 20 | 20 | 18 | 16 | 12 |
| 1/64 | | 90 | 90 | 90 | 80 | 80 | 70 | 60 | 50 | 40 | 40 | 35 | 30 | 20 |
| 1/128 | | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 90 | 80 | 70 | 70 | 60 | 50 | 40 | 40 |
| 1/256 | | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 90 | 80 | 70 | 70 | 60 | 50 | 40 | 40 |

ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送

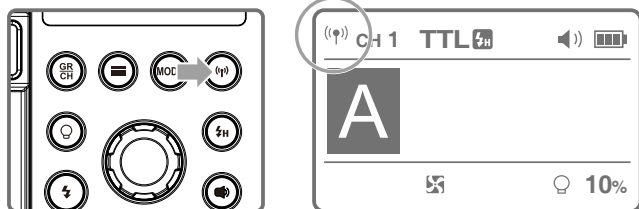
AD1200Pro Kitは神牛2.4GワイヤレスXシステムを使っており、弊社の他のタイプと完璧に組合わせて使うことができます。スレーブユニットとしてCanon E-TTL II、Nikon i-TTL、Sony、Olympus、Panasonic、Fujifilmに対応でき、マスターユニットに従って自動的に切り替わり、手動で設定する必要がありません。



*スレーブユニットとして、AD1200Proはワイヤレストランスミッション機能付きのマスターユニット、例えばAD360 IIシリーズ、T685、V860 IIシリーズ、V850 II、XPro、X1T、X2T、TT600、TT350シリーズなどにコントロールされます。

ワイヤレス設定

<GR/CH> ボタンを押して、スクリーンに <CH 1> を表示させます。

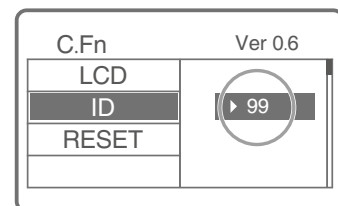


通信チャンネルの設定

撮影現場で一つ以上のワイヤレスフラッシュシステムがある場合、通信チャンネルの変更またはIDナンバーの設定を通じて信号の干渉を防ぐことができます。マスターユニットとスレーブユニットは同じチャンネル番号に設定されたことを確保するだけで良いです。



- 1 <GR/CH> ボタンを2秒長押しすると、チャンネル番号は反転表示されます。
- 2 調整つまみを回して1～32からチャンネルを選択します。
- 3 <SET> 設定ボタンを押して確認します。

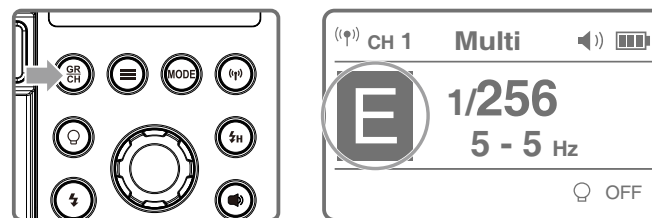


- 4 IDナンバーの設定について、MENUボタンを押して、C.Fn-IDに入ると、01～99からいずれかの数字を選択できます。01～99からいずれかの数字を選択します。

ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送

通信グループの設定

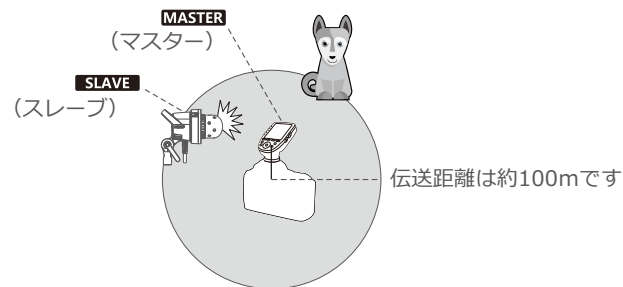
<GR/CH> ボタンを短押しすると、A～Eグループは順次に変化します。



ワイヤレスフラッシュ撮影

配置と操作範囲（ワイヤレスフラッシュ撮影例）

- 一つのスレーブユニットを使って自動発光撮影を行う場合。



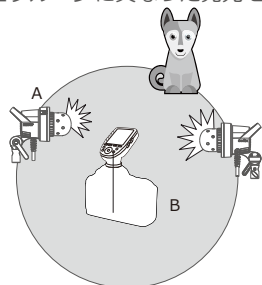
- ワイヤレストランスミッション機能付きのマスターユニットをトランスミッター側とします。
- 撮影前にテスト発光とテスト撮影を行なってください。
- 位置、周辺環境、天気状況などの影響によって、伝送距離はより短くなる場合があります。

ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送

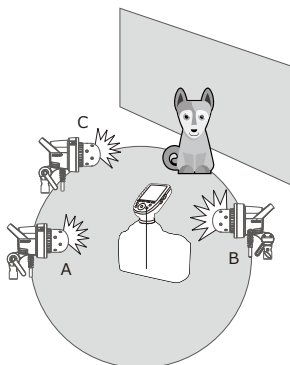
ワイヤレス多灯発光撮影

スレーブユニットを二つまたは三つのグループに分け、光量比（倍率）を変更すると同時に、TTL自動発光撮影を行なうことができます。また、各フラッシュグループに異なった発光モードを設定して撮影できます。

●二つのスレーブグループによって自動発光撮影を行う場合



●三つのスレーブグループによって自動発光撮影を行う場合



！ 神牛2.4Gワイヤレスミスフラッシュの原因及び対策：

- 外部環境2.4G信号干渉（例えばワイヤレス基地局、2.4G wifiルーター、Bluetoothデバイスなど）
→フラッシュトリガーのチャンネルCH設定（+10をおすすめします）を調整してください。干渉のないチャンネルを探しますか、作業中において他の2.4Gデバイスをオフにします。
- フラッシュはすでにリサイクルしましたが、リサイクル速度は連続撮影速度に間に合いますか（フラッシュは準備済みで、インジケータはすでに点灯しています）、また、過熱保護または他の異常状態に入っていないことを確認します。
→フラッシュのパワー段階を下げてください。TTLモードである場合、Mモードに変更してください。（TTLモードで1回予備発光が必要です）。
- フラッシュトリガーとフラッシュの距離は近過ぎますか（距離は0.5m以下です）
→フラッシュトリガーで「近距離ワイヤレス撮影」をオンにしてください。
X1、X2シリーズ：トリガーボタンを押したまま、起動し、インジケータが2回点滅するまで押し続けます。
XProシリーズ：C.Fn-DISTを0-30mに設定します。
- フラッシュトリガーとレシーバデバイスは低残量状態にあるか否かを確認します。
→電池を交換してください。（フラッシュトリガーの電池は1.5V使い捨て型アルカリ性電池を使ってください。）

C.Fn：カスタム機能の設定

| カスタム機能符号 | 機能 | 設定符号 | 設定と説明 | 使用範囲制限 |
|----------|----------------|---------------|--|----------------|
| COLOR | 色温度コンスタント | ON | オン | Mモード ハイスピード |
| | | OFF | オフ | |
| SLAVE | S1/S2光制御モード選択 | OFF | オフ | Mモード |
| | | S1 | S1モード | |
| | | S2 | S2モード | |
| MODEL | モデリングランプ | CONT | 常時点灯 | 無し |
| | | INTER | フラッシュリサイクル消灯 | |
| STANDBY | 自動シャットダウン | OFF | オフ | 無し |
| | | 30min | 何の操作もしないと、自動シャットダウンします | |
| | | 60min | | |
| | | 90min | | |
| | | 120min | | |
| LIGHT | バックライト点灯時間 | 15sec | 15秒後自動消灯 | 無し |
| | | OFF | ずっと消灯 | |
| | | ON | ずっと点灯 | |
| DELAY | 遅延発光 | OFF, 0.01~30S | 後幕トリガーとすることができます | M/Multiモード |
| UNITS | フラッシュ合計数 | 2~4 | UNITSとALTは合わせて使うべきです。UNITSはフラッシュ合計数を設定しています。ALTはこのフラッシュが何回トリガーされる後に発光することを設定しています。 | Mモード |
| ALT | トリガー回数 | 1-4 | | Mモード |
| LCD | LCDスクリーンコントラスト | -3~+3 | 7段階 | |
| ID | ワイヤレスID | OFF | オフ | ワイヤレスモード |
| | | 01-99 | 01~99からいずれかの数字を選択できます | |
| STEP | 出力表示モード | 1/256 | 出力表示方式は分数形式です | ノンTTLモード |
| | | 2.0 | 出力表示方式は小数形式です。 | |
| RESET | パラメーターリセット | NO | | 無し |
| | | YES | リセット | |
| TIMES | 発光回数記録 | ☛XXX | 発光回数 | 無し |
| | | 📷XXX | ハイスピードシンクロ発光回数 | |

- <☛> ボタンを押して、C.Fnメニューに入ります。右上にある「Ver X.X」はソフトウェアのバージョンナンバーを示します。
- カスタム機能符号の選択
●調整つまみを回してカスタム機能符号を設定します。
- 設定の変更
●<SET> 設定ボタンを押すと、カスタム機能番号はハイライト表示されます。
●調整つまみを回して欲しい番号を設定します。<SET> ボタンを押して確認します。
- C.Fnメニューの終了
●<☛> ボタンを押して終了します。

モデリングランプ

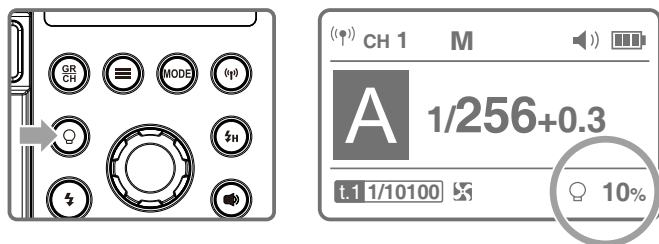
モデリングランプ

AD1200Pro Kitは40WLEDモデリングランプを搭載しており、無段階調整でき、パーセンテージとPROPという2種類の常時点灯モードがあり、

- モデリングランプには三つのモードがあり、それぞれOFF、パーセンテージとPROPです。モデリングランプボタンを短押しすると、三つのモードは順次にスクリーンに表示されます。(TTLモードの場合、OFFとパーセンテージという二つのモードだけがあります。)

- 1.OFF：モデリングランプを終了します。
- 2.パーセンテージ：1～100%。
- 3.RPOP：出力パワーを変更することによってモデリングランプの輝度を調整し、パワーが大きいほど、モデリングランプが明るくなります。

■モデリングランプを2秒長押しすることを通じて、モデリングランプのパーセンテージ（10～100%）を調整できます。



その他の応用



シンクロソケットトリガー

フラッシュは二つのシンクロソケットを外付けしており、特定のリモコンと組み合わせて使用すると、フラッシュのワイヤレストリガーを実現できます。トリガーのレシーバ側をシンクロソケットに差し込むか、トランスミッター側をカメラのホットシューに置き、カメラのシャッターを通じてシンクロトリガーを行なうこともできます。シンクロソケットは規格がΦ3.5mmで、ここにシンクロコードまたはトリガープラグを差し込んでフラッシュをシンクロトリガーすることができます。

●トリガーの使い方について、トリガーの取扱説明書をご参照ください。

保護機能

1. 熱保護

- フラッシュヘッドの過熱と損害を防ぐため、ハイスピード時に最高レベル連続発光が**100**回行った後、熱保護機能がイネーブルになる可能性があり、スクリーンに  が表示されます。この時に引き続き発光すると、リサイクルが遅くなります。少なくともフラッシュを**5分**冷却させてから、フラッシュがはじめて正常に回復し、熱保護符号が消えます。
- ロースピード時に、最高レベル連続発光が**200**回行った後、熱保護機能がイネーブルになる可能性があり、スクリーンに  が表示されます。この時に引き続き発光すると、リサイクルが遅くなります。少なくともフラッシュを**5分**冷却させてから、フラッシュがはじめて正常に回復し、熱保護符号が消えます。

2. その他の保護

- デバイスの安全を保証するため、システムは常に予防保護を行なっています。参照として下記に提示符号を提供します。

| LCD表示 | 警告内容 |
|-------|--|
| E1 | フラッシュのリサイクルシステムに故障があります。リサイクルトリガーを行なうことができない場合、再起動してください。再起動しても役立たない場合、メンテナンスしてください。 |
| E3 | フラッシュチューブの両端に電圧が高過ぎて、メンテナンスしてください。 |
| E9 | ファームウェアアップグレードに誤りがあります。正しくファームウェアをアップグレードしてください。 |

仕様

| | | |
|-------------------------|---|-------------|
| モデル | AD1200Pro Kit | |
| 発光モード | ワイヤレスオフ | M/Multi |
| | ワイヤレススレーブモード | TTL/M/Multi |
| ワイヤレススレーブユニット対応カメラ | Canon、Nikon、Sony、Olympus、Panasonic、Fujifilm、Pentax | |
| ガイドナンバー(1/1段) | 124((m ISO 100、効果的なリフレクター) | |
| 発光持続時間 | 1/220秒 - 1/10860秒 | |
| POWER | 1200W s | |
| 段階 | 1/256~1/1 | |
| ストロボ発光 | あります(回数：100回；周波数：100Hz)。 | |
| フラッシュ露出補正(FEC) | あります。トランスミッターで調整します。 | |
| シンクロ方式 | ハイスピードシンクロ(最高1/8000秒)、先幕シンクロ、後幕シンクロ | |
| 遅延トリガー | 0.01~30秒 | |
| マスク | √ | |
| ファン | √ | |
| ブザー | √ | |
| Modelモデリングランプ(LED) | 40W | |
| 光制御トリガー | S1/S2 | |
| 発光持続時間の表示 | √ | |
| 表示 | マトリクスディスプレイ | |
| ワイヤレスフラッシュ(ワイヤレス2.4G伝送) | | |
| ワイヤレス機能 | スレーブユニット、オフ | |
| 制御可能スレーブユニットグループ | 5グループ：A、B、C、D、E | |
| 伝送範囲(約) | 100m | |
| チャンネル | 32グループ：1~32 | |
| ワイヤレスID | 干渉を避けるため、ワイヤレス伝送チャンネルを変更するほか、ワイヤレスID、マスターユニットとスレーブユニットのワイヤレスIDを変更することによって、チャンネルを一致させてトリガーします。 | |
| 電源 | | |
| 電源 | リチウム電池：(36V/5200mAh) | |
| フルパワー発光回数 | 約500回 | |
| リサイクル時間 | 約0.01-2秒 | |
| 電池残量指示 | √ | |
| 節電 | フラッシュは30分~120分において何の操作もしなかった場合、自動に電源をオフにさせるように設定できます。 | |
| シンクロトリガー方式 | 3.5mmシンクロケーブル | |
| 色温度 | 5600±200k | |
| 色温度コンスタントモード | フルパワーにおける色温度変動±75K | |
| サイズ | | |
| 体積 | フラッシュヘッド：12.5x23x20mm(リフレクターを含みます) | |
| | パワーパック：23.5x14.5x26mm | |
| パワーバックキットの正味重量 | 8.25Kg | |

トラブルシューティングガイド

何か問題に合う場合、このトラブルシューティングガイドを参照してください。

フラッシュ露出不足または過度。

●ハイスピードシンクロを使います。

→ハイスピードシンクロを使うと、有効的な発光範囲はより小さくなります。被写体は表示された有効発光範囲内にあることを確保してください。

●フラッシュは手動露出モードを使います。

→TTLモードに変更しますか発光出力パワー設定を変更します。

ファームウェアアップグレード

本製品はUSBポートを通じてファームウェアアップグレードを行なうことができます。ソフトウェアの最新情報及びその説明は公式サイトをご参照ください。

●出荷する場合、USBアップグレードケーブルを同梱していないため、別途購入してください。本製品のUSBポートはType-Cポートであり、Type-C USBケーブルを使ってください。

●本製品ファームウェアのアップグレードにGodox G3プログラムソフトウェアのサポートが必要であるため、ファームウェアをアップグレードする前に「Godox G3ファームウェアアップグレードソフトウェア」をダウンロードしてから、相応するファームウェアファイルを選択してください。

●製品についてファームウェアをアップグレードしているため、取扱説明書は最新電子説明書に準じてください。

メンテナンス・保守

●フラッシュは作動している時に異常が起こった場合、直ちに電源を切り、原因を究明してください。

●本体を振動させないでください。日頃から本体表面の掃除に注意してください。

●本体にわずかに熱が発生することは正常です。特別な必要がない場合、引き続きトリガーしないでください。

●フラッシュのあらゆるメンテナンスは弊社の指定したオリジナル部品提供可能な修理業者より担当します。

●保証期間は1年間です。消耗品は保証範囲内に属されません。

●自分勝手にフラッシュを修理した場合、フラッシュの1年間保証期間が取り消され、メンテナンスする時に必要な関係費用を受け取ります。

●本製品は故障が起こったり、水に濡れられたりした場合、専門業者にメンテナンスされた後、はじめて使用できます。

●弊社は予告なしに技術を変更することがあります。予めご了承ください。